

安全データシート



1. 化学品及び会社情報

法人名 : 国立研究開発法人産業技術総合研究所
 住所 : 東京都千代田区霞が関 1-3-1
 担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準普及センター 標準物質認証管理室
 担当者 : 認証標準物質担当
 電話番号 : 029-861-4059 ファックス番号 : 029-861-4009
 緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2009年7月13日

改正日 : 2020年1月31日

整理番号 : 5602001

化学品の名称(製品名) : 認証標準物質 NMIJ CRM 5602-a
 陽電子寿命による超微細空孔測定用ポリカーボネート
 (Polycarbonate for Positron Hole-size Measurements)

推奨用途及び使用上の制限 : 本標準物質は、1 ns よりも大きいオルトポジトロニウム寿命成分を持つ高分子材料や類似試料を対象とした陽電子消滅寿命測定の精度管理、測定方法および測定結果の妥当性確認に用いることができる。試験・研究用以外には使用しないこと。
 本標準物質は、標準物質（日本産業規格（JIS）Q0030 に定められるもの）である。

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類できない

GHSラベル要素 : 該当なし

注意喚起語 : -

危険有害性情報 : -

その他の有害性情報 : -

注意書き : [安全対策]

適切な保護具を使用する。

[応急措置]

飲み込んだ場合 : できるだけ吐かせ、異常があれば医師の診察を受ける。

眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で洗浄し、異常があれば医師の診察を受ける。

[保管]

高温・多湿を避け、遮光された室温下で清浄な場所に保存すること。

[廃棄]

関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: ポリカーボネート
化学特性	: (C15H16O2. CC120) _x
分子量	: -
CAS 番号	: 25971-63-5
含有量	: 99 %
官報公示整理番号(化審法)	: 7-738
官報公示整理番号(安衛法)	: 公表

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努める。異常があれば医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 清浄な水で十分に洗い流す。汚染された衣服や靴等は脱がせ、異常があれば医師の診断を受ける。
眼に入った場合	: 清浄な水で十分に洗い流す。異常があれば医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: できるだけ吐かせ、異常があれば医師の診察を受ける。
応急処置をする者の保護	: 個人用の保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 粉末消火剤、泡沫消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水。
火災時の特有危険有害性	: 火災時には一酸化炭素等の有害なガスが発生するおそれがあるので、風上から消火を行い、吸入しないようにする。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。防火服、耐熱服、防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム手袋、ゴム長靴等の保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。
環境に対する注意事項	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和	: 空容器に回収する。

二次災害の防止策 : 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。風上から作業して、風下の人を退避させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : アルカリ、高温多湿を避ける。
- 局所排気・全体換気 : 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
- 安全取扱注意事項 : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
高温環境下に放置しない。
使用後は容器を密閉する。
取り扱いの際には適切な保護具を着用する。

保管

- 適切な保管条件 : 熱、発火源から離れた場所で保管する。
高温多湿を避け、遮光された室温下で清浄な場所に保存する。
- 安全な容器包装材料 : 褐色ガラス

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度

- ・ACGIH TLV-TWA : 設定されていない
(勧告値 '07年版) 総粉塵 10 mg/m³
- ・日本産業衛生学会勧告値 : 設定されていない
(勧告値 '06年版) 第3種粉塵
吸入性粉塵 2 mg/m³
総粉塵 8 mg/m³
- ・OSHA PEL TWA : 設定されていない

設備対策

- 換気・排気 : 粉塵が発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
- 安全管理・ガスの検知 : -
- 貯蔵上の注意 : 熱、発火源から離れた場所で保管する。
高温多湿を避け、遮光された室温下で清浄な場所に保存する。

保護具

- 呼吸器の保護具 : 粉塵が発生する可能性がある場合には、防塵マスク、保護マスク
- 手の保護具 : 保護手袋
- 目の保護具 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

・外観	: 固体
・色	: 無色透明
・臭い	: データなし
・pH	: データなし
・融点	: データなし
・沸点	: データなし
・引火点	: 522 °C以上
・爆発範囲	: 粉塵の爆発下限界濃度 25 g/m ³
・蒸気圧	: データなし
・相対蒸気密度 (空気 = 1)	: データなし
・比重又は嵩比重	: 1.2 g/cm ³
・溶解度	: 水に不溶
・n-オクタノール/ 水分分配係数 (log Po/w)	: データなし
・自然発火温度	: データなし
・分解温度	: データなし
・燃焼性	: データなし

10. 安定性及び反応性

- ◇安定性
 - ・アルカリ、溶剤で劣化。高温高湿で加水分解の恐れ。
- ◇反応性
 - ・データなし
- ◇危険有害反応性
 - ・データなし
- ◇避けるべき条件
 - ・日光、熱、湿気。
- ◇混触危険物質
 - ・データなし
- ◇危険有害な分解生成物
 - ・一酸化炭素

11. 有害性情報

特になし

12. 環境影響情報

海洋生物、鳥類が摂取することを防止するため、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。

生態毒性

- ・データなし

分解性・濃縮性

- ・データなし

生体蓄積性

- ・データなし

土壌中への移動性

- ・データなし

オゾン層への有害性

- ・データなし

13. 廃棄上の注意

- ・関連法規および地方自治体の条例に従って廃棄すること。
- ・空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去してから処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当なし
国連分類	: -
品名	: -
容器等級	: -
ICAO/IATA	: 該当なし
海洋汚染物質	: 該当なし
注意事項	: 直射日光を避け、落下、転倒等による漏洩及び火気に十分注意し、慎重に運搬する。

15. 適用法令

- ◇廃棄物の処理及び清掃に関する法律
 - ・廃プラスチック

16. その他の情報

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。